

ピロリ菌ってなんだろう

1 ピロリ菌とは？

ピロリ菌の正式名称は、「ヘリコバクター・ピロリ」といいます。

ピロリ菌は、ヒトなどの胃に生息するらせん型の細菌で、1982年に発見され、その後、多くの研究により、胃がんなどの原因となることが分かってきました。

胃の中は胃酸のため強い酸性となっていますので、通常の菌は死滅します。

しかし、ピロリ菌は、ウレアーゼという酵素を出し、自分の周囲だけ胃酸を中和して生きることができるのです。



2 どのように感染するの？

ピロリ菌は口から感染する経口感染です。特にピロリ菌に感染しやすいのは、胃の中の酸性が弱い乳幼児期と考えられています（菌が生き延びやすいため）。

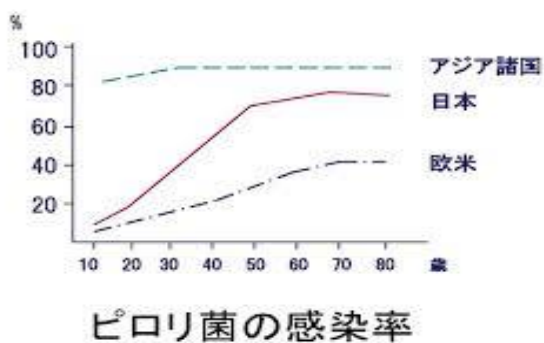
ピロリ菌は、人から人へ感染しますが、感染経路は環境因子や家庭内感染など様々な要因が考えられます。

現在は、衛生環境も良くなっているので子どもの感染は低くなっていますが、子どもの感染のおよそ80%は家族内感染といわれています。



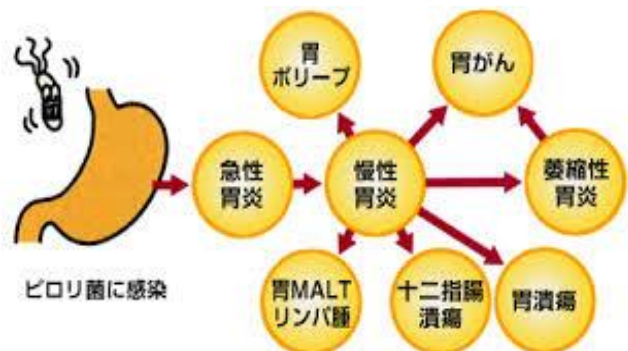
3 どのくらいの人々が感染しているの？

日本でピロリ菌に感染している人は少なくとも3,000万人以上といわれており、年齢が高くなるほど感染率は高くなります。特に、50歳以上で高く、60歳以上では70%以上の方がピロリ菌を持っているという研究結果もあります。



4 どんな病気と関連があるの？

ピロリ菌に感染すると、胃の粘膜が萎縮して炎症を起こし、消化器潰瘍（胃潰瘍、十二指腸潰瘍）や胃がんを発症しやすくなると言われています。



5 ピロリ菌の検査方法は？

ピロリ菌の検査方法には、大きく分けて内視鏡（胃カメラ）検査を必要とする方法と、必要としない方法があり、全部で6つの方法があります。

内視鏡検査を伴う方法

内視鏡で胃の組織の一部を取って、次のいずれかの方法で検査します。

●培養法

ピロリ菌を培養します。



●迅速ウレアーゼ法

ピロリ菌がもつウレアーゼの働きで作られるアンモニア(NH₃)の有無を調べる方法です。

●組織鏡検法

顕微鏡でピロリ菌がいるかどうか調べます。



内視鏡検査を伴わない方法

内視鏡を行わず、次のいずれかの方法で検査します。

●尿素呼気試験法

呼気(吐き出した息)を採取して調べる方法です。ピロリ菌がもつウレアーゼの働きで作られる二酸化炭素(CO₂)の量を調べます。

●抗体測定法

尿や血液のピロリ菌に対する抗体の有無を調べる方法です。



●抗原測定法

糞便中のピロリ菌抗原の有無を調べる方法です。

6 尿検査でピロリ菌陽性と言われたら…

ピロリ菌の有無を調べる検査は、1種類だけの検査で陽性を判断するのではなく、2種類以上の検査で陽性と判断された場合に「陽性」と判断し治療へと進みます。

尿検査の結果「陰性」と判断された人は、ほぼ100%の人がピロリ菌に感染していないといわれていますが、尿検査で「陽性」と判断された人の中には、約35%程度の人が“偽陽性”と呼ばれる「本当はピロリ菌に感染していない人」が含まれていますので、必ずもう1種類、他の検査をすることをお勧めします。

函館市では、尿検査の結果、「陽性」と判断されたお子さんへは、「尿素呼気試験」という感度の高い検査を実施しますので、是非、受けるようお勧めします。

また、子どものピロリ菌感染の80%は、家庭内感染と考えられていますので、もし、お子さんが「ピロリ菌陽性」と言われたら、一度、家族の方もピロリ菌検査を受けられることをお勧めします。



7 ピロリ菌の除菌治療について

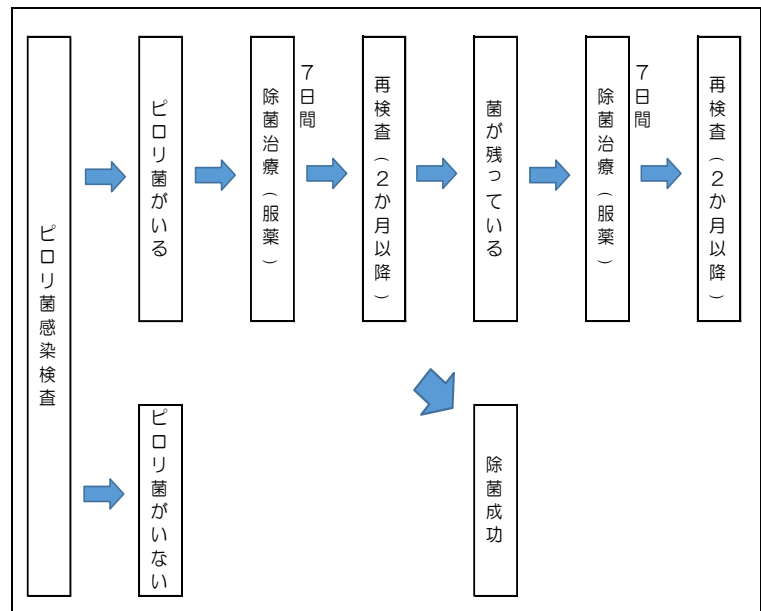
除菌治療は、担当医と十分に相談し、治療の時期、方法等について、生徒本人および保護者が納得のうえ行ってください。

治療薬は、胃酸を抑える薬と抗菌薬2種類の計3種類の薬を1週間内服することで、ピロリ菌の治療(除菌治療)ができます。1回目の治療で除菌できなかった場合には、2回目の治療を行います。

治療薬の副作用で多く見られるのは、下痢や軟便ですが、整腸剤を服用することで改善します。また、軽い吐き気や味覚異常が現れることがありますが、治療が終了すると自然に治ります。

副作用で一番注意が必要なのは、お薬に対するアレルギー反応です。特に、ペニシリンなどの抗菌剤(抗生剤)でじんま疹やアレルギー症状を起こしたことがある場合には、必ず、事前に担当医にご相談ください。

なお、除菌治療にかかる費用は、本人負担(保護者負担)です。



8 ピロリ菌検査…Q & A

Q1 ピロリ菌って何ですか

A: ピロリ菌(正式名はヘリコバクター・ピロリ)は、胃の中に生息している細菌で、近年、多くの研究により、慢性胃炎や胃・十二指腸潰瘍、さらには胃がんの原因となっていることが判明しています。

特に、日本人の胃がんの98%がピロリ菌の感染が原因であるとされており、その感染経路は、胃酸の酸性度が弱い幼少時(5歳くらいまで)の経口感染で、口から感染したピロリ菌が胃に住み続けることで、胃の粘膜が萎縮して消化性潰瘍(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)や胃がんを発症しやすくなるといわれています。

Q2 ピロリ菌に感染していると自覚症状はあるの?

A: ピロリ菌に感染すると殆どの人が胃炎になりますが、胃炎だけでは殆どの場合は無症状です。そのため感染していることに気づくことができません。症状があって受診したときには既に潰瘍が進んでいたり、進行した胃がんが発見される場合があります。

Q3 生徒から生徒に感染しないの?

A: ピロリ菌は胃酸分泌力や免疫力が弱い、5歳位までに家庭の中で感染するといわれており、学校へ上がる頃には抵抗力がついてくるため、生徒や大人同士での感染はないと考えられています。

Q4 どうして中学生を対象に検査するの？

A： 次世代を担う子どもたちの健康の保持増進のため、保護者の管理の下、一斉に検査が可能で、また、高校生以上になると地元を離れてしまう場合があることなどを考慮し、なるべく多くの人が検診を受けられるように、中学校の学校健診と同時にすることを推奨しています。

Q5 なぜ、学校健診の尿を使ってピロリ菌検査をするの？

A： 学校では、学校保健安全法に基づいて子どもたちに学校健診（健康診断）を実施しており、その学校健診の項目の1つに尿検査があります。子どもたちは、学校健診のために必ず尿を学校に持参しますので、その尿を活用することで子どもたちの“採尿”にかかる負担を軽減することができるため、学校健診の尿を利用します。

Q6 検査はどのように行うの？

A： ピロリ菌検査には様々な方法がありますが、市の一次検査では、尿を使って抗体の有無を検査します。一次検査で陽性だった場合は、確認のため、尿素呼気試験による二次検査（精密検査）を行い本当に陽性かどうかを調べます。

Q7 ピロリ菌検査の費用は？

A： ピロリ菌一次検査および二次検査の検査料は、市がその費用を負担しますので、無料で受けられます。

Q8 ピロリ菌検査陽性だったら、どうすればいいの？（いつまでに除菌すればいいの？）

A： これまでの研究では、中学生のピロリ菌陽性率は約5%で、感染して間もない若い世代（20歳代まで）に治療（除菌）を行うとピロリ菌によって起こる胃がんの発症をほぼ100%予防できるとされています。

Q9 除菌治療はどのように行うの？ 費用はどのくらいかかるの？

A： 除菌治療には、保険診療と自由診療の二つの方法があります。
保険適用による除菌治療を受ける場合は、胃内視鏡（胃カメラ）検査を受ける必要があり、除菌薬は胃酸を抑える胃薬と抗生物質2種類を1週間朝と夕に服用します。服薬が完了してから2か月後に、除菌できたかどうかを尿素呼気試験で調べます。
自由診療の場合は、胃内視鏡検査を行わず除菌薬を投与し、2か月後の尿素呼気試験で調べます。
なお、除菌治療については、子どもの成長等を勘案し、その実施時期を慎重に判断する必要がありますので、担当医と十分に相談し、保護者・生徒本人の同意の上、行ってください。
また、除菌にかかる治療費は、保険適用の場合3割負担で6,000円前後で、自由診療の場合は実施医療機関により異なりますのでご確認が必要です。

Q10 除菌薬に副作用はないの？

A： 除菌薬の副作用で多く見られるのは下痢や軟便ですが、整腸剤を服用することで改善します。また、軽い吐き気や味覚異常が現れることがありますが、治療が終了すると自然に治ります。
副作用で一番注意が必要なのは、薬に対するアレルギー反応です。特に、ペニシリンなどの抗菌剤（抗生剤）で、じんま疹やアレルギー症状を起こしたことがある場合には、必ず、事前に担当医にご相談ください。

Q11 一度除菌に成功したら二度と感染しない？

A： 大人になってからの感染はごく稀です。もし感染しても、免疫機能が発達しているので幼少期のようにピロリ菌が胃に住み続けることはないと考えられています。

Q12 大人（家族）も検査した方がいいの？

A： 家族の中でお子さんがピロリ菌に感染している場合、高い確率で保護者も感染していることが知られています。そのため、家族の検査もお勧めします。

Q13 函館市では、何人くらいの方がピロリ菌陽性と判定されるの？

A： これまでの研究から、中学生のピロリ菌陽性率は5%とされており、令和3年度の対象者は、中学2年生約1,800人ですので、おおむね90人程度の方がピロリ菌陽性と判定されるのではないかと思います。

【ピロリ菌検査に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。】

函館市医師会健診検査センター 電話 0138-43-8800
(〒041-0081 函館市田家町5番16号)

委託元：函館市保健福祉部健康増進課